

年頭所感

五霞町長

染谷 森雄

平成28年の年頭に当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は町政全般にわたり、格別のご理解・ご支援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

昨年9月には記録的な大雨で、常総市では鬼怒川の堤防が決壊し甚大な被害が発生しました。町では災害時応援協定に基づき、各種応急復旧活動へ職員を派遣し人的・物資等の支援を行いま

した。被災地の1日も早い復旧・復興を願っております。

東日本大震災からの、この5年間で地震はもとより津波・原発事故・集中豪雨・洪水と自然災害の脅威を体験し、改めて災害対策への備えや地域での連携の大切さなど災害対策の重要性を痛感しました。地域防災力の一層の向上に努め「災害に強いまちづくり」に取り組んで参ります。

さて、現在町内では堤防強化対策事業や圏央道インター周辺開発を始め、公共交通・町道整備・公民館耐震工事等、多くの事業が実行時期に入っています。

どれも五霞町の将来にとって大きな発展が期待されるところであります。今後も職員共々一丸となり実現にむけ着実に前進して参ります。

また、今年からマイナンバー制度が運用開始されます。皆様の大切な情報を適正に取り扱うよう職員への教育・指導をするとともに、引き続き制度内容の周知に努めて参ります。

町を取り巻く社会経済情勢は大変厳しい状況です。全国規模で進む人口減少や少子高齢化社会、グローバル化が進展しており、地方が独自の発展をしていくため経営戦略が今求められて

います。今年は地方創生の「総合戦略」を策定し、本格的に人口減対策に取り組んで参ります。そして、誰もが町に愛着、誇りを持ち、故郷と関わり五霞の一員として自覚を持って、私たちのまち「五霞町」を次世代に引き継ぐために皆様をはじめ、町議会と一体となつて、さらに個性的で魅力あるまちづくりを目指して参ります。

今年もご理解ご支援を切にお願い申し上げます。皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし新年のご挨拶と致します。

新春を迎えて

五霞町議会議員

宇野 進一

あけましておめでとうございます。町民の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は町政発展に種々のご支援、ご協力並びに町議会に対し、深いご理解とご協力を賜りまして、心より感謝とお礼を申し上げます。議会を代表しまして新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は関東・東北豪雨により、甚大な被害がもたらされました多くの地域の方々に対

しまして、心よりお見舞い申し上げます。そして、被災地が一日も早く復興されますよう願うものであります。なお、本町においても現在、首都圏氾濫区域堤防強化対策事業が実施されておりますが、住民の皆様のお安心・安全をより強固なものにするため、日々事業を進めているところでございます。また、昨年3月に圏央道五霞インターチェンジが開通、同時期に新4号国道の4車線化も実現し、いよいよインターチェンジ周辺開発が本格的に動き出しました。

こうした中、地方創生の実現に向けて、人口減対策に取り組

んでおり、また、本年から選挙権が18歳以上に引き下げられて初めての参議院議員の国政選挙が実施されます。そのほか、マイナンバー制度など新たな制度の運用を開始することから、町議会としては、町政へのチェック機能を一層強化し、民意を的確に反映した町政の実現に努めていかなければなりません。そして、少しでも町民の皆様にかりやすい議会をめざしていく所存でございます。

結びに、昨年4月の地方統一選挙において議会構成が新体制となりましたが、厳しい財政事情の下、無駄のない行政運営と

町振興発展のため、更なる努力を傾注してまいります。

どうか本年も、より一層のご理解、ご協力をお願いするとともに、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。

